

関東入厩

G1

# アモーレイの25

全40口 | 1口150万円 (総額6,000万円)

手塚貴久厩舎 予定

提供 追分ファーム 生産 追分ファーム 繋養 追分ファームリリーバレー

G1

キタサンブラック × アモーレイ「メス」



キタサンブラック  
鹿 2012

	Halo
ブラックタイド 黒鹿 2001	*サンデーサイレンス Wishing Well
	Alzao
	*ウインドインハーヘア Burgholere
	サクラユタカオー
シュガーハート 鹿 2005	サクラハゴロモ
	*ジャッジアンジェルーチ
	オトメゴコロ
	*ティズリー
	In Excess
アンクルモー Uncle Mo 鹿 2008	Indian Charlie Soviet Sojourn
	Arch
	Playa Maya Dixie Slippers
	*エンバイアメーカー
	Pioneerof the Nile Star of Goshen
マーガレットレイ Margaret Reay 鹿 2012	Include
	Legendary Stacey Ruth Ann d'Or (9)

メス

青鹿毛

2025.2.28 生

\*アモーレイ  
A Mo Reay  
黒鹿 2019

## FAMILY | 母系

**母の父** アンクル モー Uncle Mo は米国産、米2歳牡馬チャンピオン、北米5勝、BCジュヴェナイル-G1。北米2歳チャンピオンサイアー。【BMS:主な産駒】ソービード アンナ(米年度代表馬、BCディスタフ-G1)、ジャーナリズム(ブリークネスS-G1)、ムース(アーカンソーダービー-G1)、ナイトロジェン(アラバマS-G1)、ウィルソンテソーロ(JBCクラシック-JPN1)

**母** \*アモーレイ A Mo Reay (19 Uncle Mo) 米国産、北米5勝、ビホルダー マイルS-G1 (D8F)、パヤコアS-G3 (D8.5F)、Pago Hop S-L (D8F70Y)、フルールドリスS-G2 2着、ベルデイルS-G2 2着、フリゼットS-G1 3着、Riskaverse S-L 3着、ラトワンスS-G1 4着。本馬が初仔

**祖母** マーガレット レイ Margaret Reay (12 Pioneerof the Nile) 北米1勝、ミスグリロS-G3 2着、Chelsea Flower S 3着。産駒  
マーガレットドライブ Margaret Drive (牝 \*カリフォルニアクローム) 北米1勝

**曾祖母** レジェンダリー ステイシー Legendary Stacey (07 Include) 北米1勝。産駒

**レゼンダリー** Lezendary : 北米2勝、Cicada S

**四代母** ルース アンドール Ruth Ann d'Or (93 Tour d'Or) 北米2勝、Bassinnet S-L 3着。産駒

**マター オブ ロー** Matter of Law : 北米2勝、Nandi S 2着、Fanreluche S 3着、Lady Angela S 3着。産駒

**ミアドクーガー** Mia d'Cougar : 北米3勝、Ballade S 2着

**デルレイビーチ** Delray Beach : 北米2勝。**ホッピングノットホーピング** Hopping Not Hoping (Shady Well S)の母、**マイボーイプリンス** My Boy Prince (シェイカータウンS-G2)の祖母

\*アンチョ Ancho : 不出走。産駒

\***ワンダーレディアンエル** Wonder Lady Anne L : 北米3勝、CCA オークス-G1、デムワーゼルS-G2、ボニーミスS-G2 2着、Susan's Girl Breeders' Cup S-L 2着、ダヴォナデイルS-G2 3着、エルエンシノS-G2 3着、テンプティドS-G3 3着

**アンチュラス** : 2勝、ファンタジーS-G3 2着。**シュトルーヴェ**(目黒記念-G2)、**アンティシペイト**(福島民報杯-L)の母

## POINT | ポイント

トップサイアーとしての地位を確立した父と、米マイルG1勝ち馬の母によるカップリングが実現し、心躍る良血馬の登場です。伸びやかな上体には北米仕込みのパワフルな筋肉をまとい、頑健で長めの四肢が組み合わさることで、均整に優れた好馬体を誇ります。後肢の深い踏み込みと背中のにしなが運動したフットワークは、荒れた草地でもバランスを崩さない強靱な体幹を備えており、安定感や弾力が抜群のクオリティです。まずは牝馬三冠路線に照準を合わせますが、類いまれな素質を考えれば、その先はワールドワイドな活躍を遂げ、競馬史にさんざんと輝く物語を描いたとしても不思議ありません。